

全国アマモサミット 2017in 伊勢志摩 キックオフイベント
 「豊かな海の再生に向けて ～みんなでやるや！～」
 企画書（案）

主催：志摩市

協力：三重県・鳥羽磯部漁業協同組合・三重外湾漁業協同組合・海の博物館（調整中）

目的： 市民に「全国アマモサミット 2017in 伊勢志摩」の開催を告知する

アマモサミットだけでなく、干潟やアマモ場の再生など海の環境再生に向けた取り組みに参加する市民を増やす

日時：平成 29 年 3 月 20 日（月・祝）午後 1 時～5 時

場所：阿児アリーナ・ベイホール

告知：志摩市の広報媒体（広報しま 3 月号、CATV 行政チャンネル、ホームページ等）

チラシの配布（小中学校・高校）

プログラム

13:00	開 会	オープニング映像(作成可能か検討する) アマモサミットの開催を告知するプロモーション VTR
13:05 13:10	挨拶	全国アマモサミット 2017in 伊勢志摩大会長 / 志摩市長 竹内千尋
13:10 14:30	基調講演	NPO 法人海辺つくり研究会理事 木村 尚さん テーマ：「もっとにぎやかな伊勢志摩にしようよ！」 ～地域をつなぐ里海づくり～アマモ場再生がつなぐ海と人、人と人 アマモサミットの開催を主導してきた NPO 法人「海辺つくり研究会」の事務局長であり、人気テレビ番組「DASH 村」で干潟やアマモの再生活動や生き物観察の指導をしている木村さんを招聘し、海の素晴らしさや実際に海と触れ合うことの楽しさを参加者に伝えることで、市民の海を大切にしている意識の高揚を図る。
14:30 14:50	発表 1	三重県水産研究所鈴鹿水産研究室主査研究員 国分秀樹 テーマ：「アマモってすごい！」(仮称) 干潟やアマモ場の再生に関する研究者として、アマモがどういう植物なのか、海の中でどんな役割を果たしているのかをわかりやすく説明する。
休憩		

15:00 16:30	パネル ディスカ ッション	<p>コーディネーター：アマモサミット 2017in 伊勢志摩実行委員長 西尾 新さん</p> <p>パネリスト：</p> <p>海の素晴らしさを伝える達人 NPO 法人海辺つくり研究会理事 木村 尚さん アマモと人との関わり、海の博物館での取組み紹介 海の博物館学芸員 平賀大蔵さん 的矢湾の現状とこれまでのアマモ再生の取組み紹介 鳥羽磯部漁業協同組合員(1 名人選依頼) アマモ再生に関する技術的なアドバイス 三重県水産研究所鈴鹿水産研究室主査研究員 国分秀樹</p> <p>市内の海の現状を参加者が再認識し、アマモ再生を始めとする 自然環境の保全活動に「みんなで取り組もう」という流れを作り出 す。</p>
16:30	事務連絡	<p>一連のイベント等に関する情報配信登録に関する告知（里海）</p> <p>パネルディスカッションの流れを受け、今後干潟や藻場の再生 活動に関する情報配信を希望する参加者に連絡先を登録するよう促 す。登録した市民に直接イベント情報を流すことで参加者を増やし 活動を活性化する。</p>
16:45	閉 会	アマモサミット 2017in 伊勢志摩実行委員長 西尾 新さん

パネル展示：干潟やアマモ再生に関する取組み紹介パネルなど

- ・伊勢湾や鳥羽、日生、小浜などの紹介
- ・これまでのアマモサミットの紹介

情報配信登録：当日から受け付け開始。随時受付していく。

今後のスケジュール調整、登録要綱などの整備が必要。

託児所の設置の検討